

小学校学習発表会 成長した姿を披露



蓬田小学校



小平小学校

蓬田小学校の「蓬田フェスティバル」と小平小学校の「学習発表会」が、11月4日に開催されました。子どもたちは大勢の観客を前に緊張した様子を見せながらも、演劇や合唱などを力いっぱい発表しました。どの学年もこれまでの練習の成果を発揮し、子どもたちの成長が感じられる発表会となりました。

村長を囲む懇談会

村長を囲む懇談会が10月2日から10月31日まで村内13か所で行われ、268人の村民の皆さんが参加されました。

この懇談会は、村長自らが地域へ出向き、今後の村づくりについて住民の方と直接懇談することにより「住民と行政の協働のむらづくり」につなげる事を目的に毎年行われています。

今年も、澤村村長から村の財政状況と公

共事業の進

め方等につい

て説明がされ

た後、参加者

からの質問や

要望に答える

形で懇談会が

進められまし

た。

今後は皆さ

んからの意見

等を集約し、

行政運営に反

映させていき

ます。



年末年始の交通事故防止 県民総ぐるみ運動を 実施します

毎年この時期には、夕暮れ時から夜間にかけて交通事故が多発し、特に高齢歩行者が被害者となる重大事故の増加が懸念されます。

また、高齢運転者による重大事故も発生していることから、県民一人一人が交通安全意識を高め、交通ルールの遵守、正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、県民総ぐるみで交通事故の防止を図ることを目的としています。

●期間

平成30年12月10日(月)から
平成31年1月7日(月)まで

●運動のスローガン

ハイビーム 上手に使う 事故防止

●年間スローガン

みんながね ルール守れば ほら笑顔

●運動の重点

(1) 高齢者の交通事故防止

(2) 夕暮れ時や夜間の交通事故防止

(特に、反射材用品等の着用の推進)

(3) 全ての座席のシートベルトとチャイルド

シートの正しい着用の徹底

(4) 飲酒運転の根絶

消防署からのお知らせ

窒息事故を防止しよう！

年末年始は餅による窒息事故が多く、乳幼児、特に高齢者の窒息事故の死亡者数が増加する時期であることから、食べやすい大きさに分割し、食事を見守るなど餅を喉に詰まらせない食べ方で予防しましょう。

窒息の原因・理由

- ・餅は表面温度が40度以下になると硬さが増すくっつきやすさも増してのどの粘膜にくっつき、はがれにくくなる。
- ・高齢者になると、口やのどの機能が低下する奥歯がなくなったり入れ歯になったりすることで、あごの安定力が低下し、飲み込みやすくする力が落ちる。唾液の分泌も減り、飲み込んで喉に残る部分が生じやすく、そのまま息を吸い込むと気道に詰まりやすくなって、窒息の原因となる。

対処のポイント

- ・咳をさせる
 - ・背部叩打法
左右の肩甲骨の中央を強く叩いて気道異物を除去する。
 - ・腹部突き上げ法
両手で握り拳を作り、みぞおちとへその間を上方に突き上げ気道異物を除去する。
- ※妊婦や1歳未満の乳児に対しては実施しない。

定期救命講習会の開催日

開催日・時間	開催内容	開催場所
平成 31 年 1 月 13 日(日) 9:00 ~	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ	石川町公民館
1 月 24 日(木) 9:00 ~	普通救命講習Ⅲ (小児)	石川町公民館
2 月 10 日(日) 9:00 ~	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ	古殿町公民館
2 月 28 日(木) 9:00 ~	普通救命講習Ⅰ・Ⅱ	古殿町公民館

○申込方法…受講日の5日前までに、電話またはFAXでお申込みください。

- ・石川消防署平田分署 (☎ 55-2213 FAX 0248-94-2079)
講習会の詳細は平田分署へお問い合わせいただくか須賀川地方広域消防組合ホームページをご覧ください。(http://www.sukagawa119.jp)

公立小野町地方総合病院からのお知らせ



今回は、内科常勤医師渡辺直彦院長からインフルエンザについてお知らせします。



わたなべ 直彦 院長

インフルエンザは“かぜ”と違って私たちの健康に大きな影響を与えるおそれがある感染症の一つです。日常生活ではまず、栄養と休養を十分に取って抵抗力をつけ、マスクを着用し人ごみを避けてウイルスに接触しないことが大切です。また、インフルエンザウイルスは湿度に非常に弱いので、加湿器などを使って室内を適度な湿度に保つことも有効な予防方法です。インフルエンザワクチンは接種してから効果を発揮するまでに約2週間かかります。ワクチンには2回接種と1回接種があり、2回接種の2回目は1回目から1～4週間あけて接種します。通常、流行期間が12～3月ですから、11月中旬頃までには接種を終えておくことより効果的でしょう。卵などにアレルギー、けいれんの既往症、熱を出している場合などには接種できないことがあるので、医師に相談してください。抗インフルエンザ薬はウイルスの増殖を抑え、病気の期間と症状の重さを軽減する効果が優れています。早期であればあるほど、急激に増殖するウイルスの量を抑制できるので症状が出てから48時間以内に服用することが重要です。インフルエンザの症状がでたら、早めに医師の診断を受けるようにしましょう。

渡辺直彦院長の診療日および受付時間

月曜日：午後3時～午後4時30分 水・木曜日：午前9時～午前11時30分

当院ではインフルエンザの予防接種を行っています。金額等については下記までお問い合わせください。

公立小野町地方総合病院 総務課 ☎ 0247-72-3181 (代)